

# “E”qual New Album “SWORDFISH”

前作から半年、“E”qual for M.O.S.A.D. 渾身のニュー・アルバム「SWORDFISH」をリリース!!  
 前々作、「GIANTfootSTEP ver.“E”」では、今までの軌跡 (FOOT STEP) を収録し  
 入門的なアルバムを発表、前作「DOPEBOY」では、1stアルバム「GetBig “the Ballers”」を彷彿させる  
 彼の原点に戻ったストリート仕様EPを発表。どちらも、過去～現在～未来を啓示する作品で、  
 今日の名古屋ストリート・ヒップホップシーンを表現し発信している。  
 本作では、アグレッシブに未来へ向かって走りつづける“E”qualの『反骨心』を  
 ジャンルレスなサウンドとスキルフルで角度の高いラップで発信。  
 ゲスト参加にM.O.S.A.D.の盟友AKIRA、若手ホープNo.1ヒップホップシンガー CITY-ACE、  
 注目の新グループDOPEBOYS (“E”qual, G.B.L, CITY-ACE, DEEP KAVAR)、  
 名古屋ROCKシーンからLil'PATRA、実力派R&Bシーンから、HI-D、Full Of Harmony、  
 宏実、MIHIRO～マイロ～、May J. (Remixで参加)らが、スイートメロウ～アップリフティングな  
 ラップとR&Bの可能性を更に拡げる。  
 また最強トラックメーカーが勢揃いし、唯一無二の天才トラックメーカーBACHLOGIC、  
 AK-69のリード・トラックメーカーNATO、ヒップホップの良識トリオBUZER BEATSから  
 ポップヒットプロデューサーのDJ034 & Growth (Seamo)、soundbreakers (湘南乃風)、  
 High Speed Boyzのjunchi.らも参加。  
 尚、3月には “DOPEBOYS” (“E”qual, G.B.L, CITY-ACE, DEEP KAVAR) 名義の  
 企画ミニアルバムをリリース!



[全16曲収録]

1. Runaway (Produced by junchi.)
2. I'm Ready (Produced by EQ)
3. Eagle Eye feat. AKIRA (M.O.S.A.D.) (Produced by BACHLOGIC)
4. Rock With You feat. Lil' PATRA (Produced by "E"qual)
5. Callin' Angels feat. HI-D (Produced by "E"qual)
6. Re: Champagne feat. Full Of Harmony (Produced by soundbreakers)
7. Crazy feat. SOCKS, MAY (Produced by kame "JAH" man)
8. Save My Time feat. SYGNAL, 蝶々, 来々 (Produced by dee.c)
9. Chicken & Chips (Produced by "E"qual)
10. Music Man feat. CITY-ACE (Produced by Tarot)
11. D.O.P.E. (Death Of Public Enemies) feat. DOPE BOYS (G.B.L., DEEP KAVAR, CITY-ACE) (Produced by Buzzer Beats)
12. Sucker MC's (Produced by NATO)
13. Not Professional (Produced by BACHLOGIC)
14. Winter Song feat. MIHIRO～マイロ～ (Produced by L's story)
15. Live Your Life feat. 宏実 (Produced by DJ 034 & Growth)
16. My Fair Lady feat. May J. (Remix) (Produced by kame "JAH" man)



■“E”qual新ユニット「DOPE BOYS」始動!!  
 前作EP「DOPE BOY」からのスピノフ・ユニット、「DOPE BOYS」結成。  
 メンバーは“E”qual作品の常連、BALLERSから「G.B.L.」、楽曲「Ohhhhh S\*\*\*!!」(DOPE BOY収録)等の参加でおなじみ、D.S.B.から「CITY-ACE」とDUFFLE BAG E.N.T.から「DEEP-KAVAR」の計5名による、純度100% HIP HOPユニットの初アルバム「D.O.P.E.」今後の動きに要チェック!!

- プロデューサー: BUZER BEATS, dee.c, EQ, "E"qual, NATO, DJ RYOW, DJ TAIKI
- フィーチャリング: AKIRA, DABO, DELI, EL LATINO, G.CUE, Mr. OZ, RYUZO

“E”qual presents DOPE BOYS  
 New Album “D.O.P.E.”  
 2010.3.31 IN STORES  
 ¥2,000(TAX INCL.) NFCD-27215

“E”qual New Album “SWORDFISH”  
 2010.2.24 IN STORES

¥2,625 (TAX INCL.) NFCD-27213



www.equal-mosad.com

BLOG: http://ameblo.jp/equal-mosad

tearbridge records HARLEM ICEBERG STEPS



-HARLEM-  
 DR. Jeekahn's 2F, 3F, 2-4 Maruyama-cho,  
 Shibuya-ku Tokyo, 150-0044 JAPAN  
 Phone. 03-3461-8806  
 e-mail. otaken@harlem.co.jp  
 www.harlem.co.jp

●ご注意●  
 ※HARLEMでは未成年の方のご入場は固くお断り  
 しております。  
 ※ご入場の際には、写真付の身分証明書の提示を  
 お願いいたします。予めご了承下さい。



COVER INTERVIEW:  
**DJ HARUKI**  
 from EVERY THURSDAY PARTY  
 “Apple Pie”

MONTHLY “HARLEM MAGAZINE”  
 SPIT'EM OUT!  
 “It's Absolutely Raw”  
 This Magazine gives y'all Hip Hop Headz  
 the Real Words from the Real Scene...  
 Volume.024・Issue.151・MAR 2010

Publication: Otanoshimi Kenkyujo Inc. 6F, 2-1-10 Ebisu-minami, Shibuya-ku, Tokyo 150-0022 Japan Tel. 03-5768-4910 Fax. 03-5767-4912 e-mail. otaken@harlem.co.jp  
 Editor in Chief: Dai Ohta Editor: Yoshihisa Fujita, Atsushi Nukazawa, Akiko Sasaki, Nobuhisa Mikasa, Shin Onodera, Shoki Sato Art Direction & Design: Takashi Wakamatsu-Camel D.F.  
 Special Thanks: DJ Haruki / Tomofumi Nakayama / DJ Takeshi / Yas 5 / Takeshi Hasegawa / DJ Hal & Toyo / G-Boy Tamura / Ya-man Hirota & All HARLEM Peoples  
 Contents & Design may not be reproduced without the express permission of the Publisher. ©2010 Otanoshimi Kenkyujo Inc. All rights reserved. Printed in Japan.

■今シーズンのテーマは原点という巨人。HARLEMもニュースは違えど同様に原点回帰。ここから出発です。[ピカル] ■管沢さん、ご出産おめでとうござい  
 ます!! これから大変な日が続くと思っけど、頑張って子育て楽しんでね! [ピーノ] ■疲勞困憊... 今年のヤマはデカかった... 温泉行きたいな... [うらこ]  
 ■カンパリア宮殿/プロフェッショナル/第二アサ秘ジャーナル/そしてオネマス。充実の月曜深夜帯... それより山田さん、早く工場見学行きたいです! wktk [T.N.T]  
 ■だんだん暖かくなりましたね! もうすぐリーグも開幕だし! 今年こそエスバルス優勝! [SHOWKIX]

# A NEW REGULAR ON THURSDAY

## R&B PARTY

# “Apple Pie”

DJ HARUKI DJ KOMORI DJ Mike-Masa

OPEN. 22:00 ¥3,000/2D \*till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer)\*

## INTERVIEW:

# DJ HARUKI

from EVERY THURSDAY PARTY

## “Apple Pie”

Cover & Interview Photo by SHINICHIRO SAITO (SPELA)

●まずは、HARUKIさんがDJを始めるにあたっての経緯を教えてください。

僕は完全にクラブからです。最初は、クラブでかかっているもの、DJがかかるものがカッコイイと思ってました。CDをたくさん持つてるとかレコードをたくさん持つてるとか、そういう状態でクラブに行きたわけじゃなくて、ホントに無知の状態で行き始めたから、最初は箱でかかっている曲が全てカッコイイと思っていましたね。六本木のクラブに行き始めたんですけど、最初は踊る方が良くって行ってたんですよね。昔の小箱ってDJはあんまり見えなかったじゃないですか。小箱はすごく暗くて、大箱は極端に言うとディスコみたいに明るくて、その中間みたいなものがあるんじゃないかと思うんですけど、六本木には中箱が結構あったんですよね。中箱はお客様に合わせて部分と、それとは逆に「これはどうだ」みたいな勝負球を出してくる部分があったから、そういうところに通ってううちに「こういうのがカッコイイな」ってだんだん思うようになってきたんですよね。それで「今度は回す側になりたいな」って思ったのがDJを目指すきっかけですね。でも、最初は機材を持っていないから、まずはお店の従業員になって、週に3日か4日従業員としてちょっと早く店に入って、自分のレコードを持ってきてやらせてもらってたんですよ。それで帰りもみんなが帰った後に1時間くらい残ってやらせてもらって、その繰り返しでしたね。自分で機材を買うようになるまで、3年くらいそれをやりました。だから、自分の家に機材が届いた時、レコードは3,000枚とか4,000枚とか持ってましたね。ターンテーブル持ってなかったのに、レコードだけは増えていったんですよね(笑)。

それに、昔はお店にもレコードがあったじゃないですか。70年代のネタものみたいなものから、80年代のミーハーとか90年代の新譜も全部置いてあったんで、それを「これは営業に使えるな」とか「これは10分の1のお客様しか踊らないな」とか、そういう聴き方をしてたんですよ。「これは100%のお客様が好きだ」「これは90%、80%、70%」っていうふうに営業的なことを考えたり、逆に「これは10%しか踊らないけど、いずれ90%が踊る曲になる」って考えたりしてると、凄くワクワクしてたんですよね。でも、最初はずっと現場には立てないんで、想像だけで楽しんで(笑)。いいなって思うレコードをメモって買いに行ったりして、最初はずっとその繰り返しでしたね。

最初の1年くらい経ってから一度、お金を貯めて外国にレコードを買いに行ったんですけど、ちょっと生意気だったのもあったから、お店の人に無理言って、帰ってきたらDJをやらせてくれたんですよ。そこからちょっとずつやらせてもらえるようになってたんですけど、今思えば、正直何も分かってないお兄ちゃんがただの生意気でやってただけですね。それからだんだん、周りの大人の話聞いて、勉強させてもらった感じで。大人って言ったって、みんな20代前半とかの人なんですけど、ずっと現場にいる人って色々見るから若くても経験値があるん

「1曲1曲、息を止めてミックスしてるくらいに気持ちを入れてやっているの、それを感じて欲しいんですよね…」

満を持して木曜レギュラーとなる〈Apple Pie〉を、9年間リードしてきたDJ HARUKI。彼のパーティー愛、そして〈Apple Pie〉への情熱をヒストリーと共に語る。

ですよね。当時の僕より年上の人って、凄く大人っぽかったと思うんですね。年上の人たちの経験したことが経験値として凄く勉強になる事があって、例えば「オレらは5年かかったけど、お前は5年かかっちゃダメだぞ」とか言ってくれたりしてたんですよね。それが凄く尊敬に値したというか、勉強になるというか。そういう意味では凄くいい環境だったなって思いますよね。

●本格的にDJとして人前に立つようになるまでには？  
10代の時、六本木のクラブに呼ばれた時にいきなり遅刻した事があるんですよ。というのも、そのイベントって当時流行りのハードコア系のものだったんですよ。そこに僕が呼ばれた趣旨は分かってたんですけど、「俺のパートは盛り下がるだろ」というふうにして、行くことを躊躇してしまってたんですね。ハードコアって、曲も縦ノリで箱自体もドッカン

ドッカンしてる感じじゃないですか。そこで自分は発揮できるのかなって思ってたんですよね。ただ「やっぱり行った方がいいな」って思ってたんですけど。その頃僕がかけたのはBPM100くらいのロービートのHIP HOPとかR&Bが中心だったんで、「これでイけるのかな」って不安になりながらプレイしてたんですね。でも逆にいい空気になったと、お店の人たちにも「普通だったらそういう空気を作らないまま縦ノリで終わっちゃうところを、あの時間を作ったから全体的に締まって良かったよ」と言われて。逆じゃないんですけど、「ハードコア系だし、行くの止めようかな」って思っていたのに、行けばなんとかなるんだっていう可能性をその時感じたんですよね。もうちょっと近いジャンルのイベントに呼ばれたら、最初から「なんとかなるな」って思ってたって思うんですけど、最初「これは無理だな」って思ったところで無理に合わせず、自分の

ルーティーンでやったのが逆にいい結果に繋がったのが、その時は嬉しかったですね。呼んでくれる人っていうのは、僕がロービートをかけるって分かって呼んでくれてたわけじゃないですか。イベントはそういう色でも、「HARUKIのパートはそうなる」って分かって呼んでくれてたんだと思うんで、今思うと、そこで一生懸命やって良かったなって思いますよね。もしそこで変に裏読みして「やらない方がいいんじゃないか」って思い過ぎてたら、その場だけでも浸透させられなかっただろうとも思うし、もしあの時行かなかたらなんて考えると、今の僕はないんだろうから怖いですよね。この事がきっかけで、お金をもらってDJをするっていうことに責任を感じるようにもなりました。呼んでくれる人もリスクを背負ってたわけじゃないですか。そういう意味では、呼んでくれた人に対しても目の前のお客さんに対しても自分を出し切るってことが、お金をもらってやることなんだって、その時感じましたね。

●R&Bのパーティーをスタートするまでの経緯は？  
80年代のDANCE CLASSICSの分かれ方ってFUNKとか、HOUSE寄りのいわゆるGARAGEっぽいものとか、BPMが中間くらいの今というR&Bっぽいものとか、いっぱい分かれてたと思うんですよ。HIP HOPに絞ったイベントもHOUSEに絞ったイベントも色々ありましたけど、真ん中の歌モノはどっちかに分類されることが多かったので、その真ん中だけに絞るのもいいんじゃないかなって思ってたんですよ。昔から、誤解を生んでもいいから、例えば「HIP HOPって何？」とか「R&Bって何？」とか、一つ解釈を提示してそれに関して話し合う事が嫌いじゃなかったの、中間的な部分のジャンルR&Bをカテゴライズするのは意外に自然だったし、無理だとは思ってなかったんですよ。それがウケるかウケないかはまた別の話なんですけど、絞るのは簡単ですからね。ウケるようにする為には、周りの力というか、お店の協力もないと出来ない事なので、そこは一筋縄ではいかないところではあるんですけど、R&Bに絞る事は意外に自然だったんですよ。ちょっと前までは特に、R&Bという女の子っぽいイメージがつき過ぎていて、「今さら男が途中で入り辛い」とかあったと思うんですよ。でもね、「オレみたいなヒゲじじいが聴いているんだから、みんなもそんなこと気にせずに聴いてくれよ」って思うし、女の子でも男の子でも、突き詰めた部分で話し合える場を作れば、「私は実はHIP HOPが好きなんだよね」っていう女の子もいれば、「HIP HOPから入ったけど、実は歌モノ好きなんだよね」っていう男の子もいるし、「この曲のネタを探してたらこの人が歌ってたんだけど、この人の歌いいよね」みたいに、その人が当時はR&Bと見なされてなくても、今はR&Bって認識されている人がたくさんいるんですよ。時系列的に並べると、誰がどこでR&Bと意識したかはみんなバラバラだと思うから、それを討論するような場が嫌いじゃなかったって事が、R&Bに絞ったイベントをやる事に繋がったのかもしれないですね。一時期ホントに、「R&BなんてHIP HOPのトラックにメロつけて歌ってるだけじゃねえか」って言われ兼ねない時代もあったし、今もそういう曲はいっぱいあるので、そういう曲だけを使っていたら誤解され続けると思うんですよ。逆に歌モノの良さをギリギリまで引っ張り出したHIP HOPもたくさんあるわけで、限りなくHIP HOPみたくても歌ってるような、例えば「Children's Story」のトラックに乗せたMontell Jordanの「THIS IS HOW WE DO IT」みたいに、R&Bチャートにも入るし、Slick Rickを使ってるからもちろんHIP HOPチャートにも入る曲ってたくさんあって、それを、その場その場でどう解釈するかって事なんだと思うんですけど、〈Apple Pie〉では歌モノとして解釈して使おうかって感じなんですよ。

●〈Apple Pie〉は9周年を迎えますが、この9年を振り返ってみてどんな事がありましたか？  
最初の頃は、やっぱり「難しい事をやってるな」っていうのはありましたよね。環境にしる何にしる。そもそも自分たちで呼んでいるお客さんが、R&Bが好きなのかどうかっていう事も含めて。当時、その日のお客さんの満足度がどの位のものだったのかを今考えると、相当怖いんですよ。でも、それよりも、「やらない方がいいんじゃないか」って思い込みも強かったし、おべっかでも何でもなく続けてくれる箱があるから出来た事で、ホントに微かな光が見えてたって感じてましたよね。みんなやる気だけはあったんで、宣伝を頑張ったりしてたんですけど、HARLEMで唯一のR&Bパーティーっていう事が、宣伝し易かったのも事実で。それに、いい意味でひねくれたお客さんが協力してくれた部分もあると思うんですよ。「オレ、このイベントだけ来てるから」とか「他の店には行かないから」とか言う、いい意味でひねくれたお客さんは、別に「宣伝してよ」って言わなくても協力してくれてたと思うので、そういうお客さんにも最初は凄く助けられてたんだと思いますね。その人が嫌われるとお客さんが減るみたいなのは当然ありますけど(笑)、個人的には凄く嬉しいですよ。少しずつ少しずつ広げていってくれたというか、一気にドカンとなったのはホントに後々の話で、最初の頃はそういう状態でしたから、「帯のパーティーになるのが前提で、10年前にもう一回やりますか？」って聞かれたら、やるかどうか分からないぐらいですよ(笑)。ホントに胃に穴が開きそうなくらいで、少なからず楽しくはなかったんで(笑)。ただ、やり甲斐は凄くありました。真剣にやってたらやってるほど、苦しい事だってある訳です。ただ楽しいイベントってそうそうないと思うんですよ。だから、最初は凄く辛かったですよね。でも、途中くらいから、やってる事と表現できている事が少しずつ近づいてきたような気がしたんですよ。お客さんの理解の仕方もそうで、例えばKOMORIのお客さん、渋谷のお客さん、HARLEMのお客さん、僕のお客さんとかっていったと思うんですけど、みんな少しずつ違ったりするじゃないですか。そういう中で、僕は自分のお客さんだけを相手にするのが嫌だから、全体的に喜ばせる、みんなに楽しく思ってもらっているのはどういう事なのかなんて考えながらやってたんですよ。如何せん最初の頃はお客さんが分かれるのはしょうがないので、そこで誰かがその日の嫌われ役を買って出て「こんなミーハーなのかけるの？」っていう曲から「こんなマイナーなの？」って曲までかけて、「1日の中で流れを作っていく事が大事だなんて思ってたんですよ。それを続けていくにつれてお客さん同士にも、「これはオレたちは引くけど、あの人たちは踊るんだ」みたいに、なんとなく見えるようになっていったんだと思うんですよ。まあ、これは凄く時間のかかる事だったんですけど、ウケる曲の中にそういう他ではかからないような曲を毎回入れていくのは意識しながら続けてましたね。「R&Bをやってます」って言っても分かってもらえるようになったのは、ちょうど4〜5年やり続けてきた頃ですかね。遊びに来るか来ないかは別として、「R&Bやってるんだ」っていう言葉の意味を解かってもらえるようになったのはホントにその頃からなんですよ。お客さんだけでなく、他のDJの人たちにしてもそうだったと思うんですよ。みんな歌モノもかけてるしHIP HOPもかけてるし、ダンクラもREGGAEもROCKも、かけ方で自分なりに使うのがHIP HOPだっていう感覚があると思うので、それをR&B一つに絞ってやるとなると、「やり辛いんじゃないの？」とか思ってたと思うんですよ。歌モノってイメージ商売だから、かける曲をR&Bとして聴かせるって事になるわけなんですけど、かける曲を1曲1曲、「これ歌モノなの？」って思ってる

人もいると思うんですね。だから、仮にGUEST DJとして呼んだとしてもみんな来辛いなと思うし、「これR&Bなの？」ってかける前に聞かなきゃいけないなっちゃうんじゃないかなと思って(笑)。Top 40に入ってる歌モノだけでやったとしたって、その中でウケる曲なんて3分の1くらいだし、それを1日に何回もかけるのかって話になっちゃうじゃないですか。古い曲って言ったってウケる曲は限られてるから、そういう曲が何回もかかるんじゃないかっていうイメージを持たれたり、他のDJがそう思ってたりのしたんだとしてもしょうがないですよ。でも、永く続けた結果、〈Apple Pie〉でしかウケない曲が結構あって楽しいですよ(笑)。

●3月から〈Apple Pie〉は毎週木曜日の開催になりますが、HARUKIさんの的に考えてる事はありますか？  
ピークタイムの前までに一番盛り上がりつつあるように作って、それ以降は狙っていく曲を入れたり、新しい曲や古くてもあまりかかかっていない曲をもっと入れていこうとは思ってます。毎週やっていく事で当然ヒットを作っていくかなければいけないと思うので、お客さんに教え込むというか、色んなものを提示していけたらなど。ただ、楽しんでもらうっていう事は、派手な曲ドッカンドッカンっていう時間も作らないと上がらないとは思ってますけど、そのドッカンドッカンの他にも、言葉では難しいですけど、モクモクと立ちこめる熱気のある、いわゆるクラブの雰囲気というか、最先端のものが生み出されようとしている空気を作りたいと思っているんですよ。あんまり右往左往しない展開というか、一言で言うとか飽きない展開が個人的には理想なんで。今まではやりたくても、自分のパートは「ここで盛り上げて、ここで落として」っていうものが明確にあったパートだったので、なかなか出来なかったんですよ。だからこれからは後半は敢えて狙って、真の音楽好きに問いかけるような時間も作っていききたいと思えますよね。前半で1回、お客さんにはワーツと上がったような高揚感を持ってもらいつつ、それを後半にどンドンどンドン溜め込んでいくような、そういうイメージでいるんですけどね。だから前半ではMike-Masaに炸裂して欲しいなって思ってます。そこで1回ドカンとやってもらえば、後半は気持ちよく持っていく事に集中できるし、そうすればお客さんからの「何かくれ」「次は何？」っていう空気が立ちこめるような空間になると思うんですよ。あとは僕たちが、お客さんの求めているもの以上のものを提供していけたら、いい形になるんじゃないかと思ってます。

●毎週開催になるにあたって、KOMORIさんやMike-Masaさんと話している事はありますか？  
KOMORIとは、今まで以上に古い曲とか新しい曲とかいう分け方ではなくて、今までかけられなかった曲をスムーズに、可能性を広げるような使い方をしようと話しています。今までは「これはこういう人が好きだよ」「これはああいう人が好きだよ」っていうのが少しあったんですけど、それをなくして「初めて来た人だってこの曲から入れる」っていうような曲の使い方をしていくことによって、逆にもっと深い曲も使えるようになると思うんですよ。僕たちはどンドン曲を掘ったり生んだりしていくし、それをまた現場で当てられるようになっていくと思うので、それを僕たちはいい聴かせ方をすることに集中して、どンドンどンドン送り出していこうと思ってます。同時に毎週それを体感していければ、手を抜かない限り絶対大丈夫だと思うんですよ。そこでMike-Masaには、とにかくお客さんを自分のものにするくらいのつもりでやってもらえたらと思ってます。どンドンヒット曲も使っているし、「こ

の1曲は今日のオレの魂の1発だ」くらいの気持ちでやっていってもらいたいですね。そうやってお客さんを興奮させて、尚かつ尾を引くようなプレイをしてもらいたいです。毎回言うんですけど、ちょっとしたクエスチョンマークを残すようにしてもらいたいというか。全体的に気持ちで向かっていくから生まれるクエスチョンマークな訳なので、それをお客さんと一緒にお互い切磋琢磨して解いていってくれればと思いますよね。毎回一つ提示して、次の週に答えをもらってまた一つ提示してってふうに、どンドン返し合って高めていってもらいたいですね。

●DJプレイをしていない時間帯についてのごだわりはありますか？  
僕はDJを始めたのも続けてきたのも箱有りきだと思っているんですよ。もちろん遊びに来れない人たちもいるので、そういう人たちにはMIX CDなんかで提供していこうと思ってるんですけど、とにかく僕は現場に来てもらいたいっていうのがあるんですよ。大袈裟に聞こえるかもしれないけど、1曲1曲、息を止めてミックスしてるくらいに気持ちを入れて

やっているの、それを感じて欲しいんですよ。プレイ中がそうだから、その反動で自分のパートじゃない時はアルカホリックになっちゃうんですけど(笑)。ホントに「みんなで飲もうよ」って感じなんですよ。もし悩みがあれば、汗をかいて踊って、お酒飲んで発散しようって思うんですよ。お家で一人で悩んでも大変だから、どうせ悩んで寝れないんだったらクラブに来て一緒にみんなで楽しんで欲しいし。そういうふう楽しんで、みんなのパワーにしてもらえれば、嬉しい事この上ないわけだし、僕たちはその為にやってるようなものなので、何のコミュニケーションもないまま黙って来て黙って帰るのも、それはそれでクールな在り方だからカッコイイとは思いますが、僕はみんなと楽しみたいから、見かけたら声をかけてくれて構わないってくらいで。こんな事言っちゃうと大変な事になっちゃうんですけどね(笑)。音楽は苦手で酒だけが得意なヤツとか集まっちゃったりして(笑)。あくまでも真ん中に箱と音楽があって、そういうテーブルでお酒の席に着いてもらう前提ですからね。毎週になって体を壊さないかだけが心配ですけど(笑)、僕も楽しみにしてます。

●今後、制作の予定などは？  
MIX CDの制作が遅れに遅れちゃってて。本当はとっくに出してなきゃいけない時期なんですけど、新しい機材を導入した事もあったりして、制作がかなり押している状態で、周りにはホントに申し訳なくて。準備だけして始めちゃえば、そのまますんなり行くと思うんですけどね。〈Apple Pie〉を毎週頑張るのとMIX CDの制作は、僕の今年の命題です。今年中にはどンドン作って行って、来年の今頃には「次はどういうものを出すんですか？」って話が出るようにしたいと思っているので、今年は〈Apple Pie〉も作品もパワーアップして頑張ります。

●読者にメッセージをお願いします。  
みなさん、お世話になっております。今年の3月から帯のイベントになるという事で、改めて宜しくお願いします。これから進化していくHARLEM、シーン、〈Apple Pie〉を是非見届けて欲しいです。そしてその瞬間、瞬間と一緒に体感して欲しい。みんなで作って、みんなで盛り上げていきましょう！



PARTY SCHEDULE

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
28 SORRY... <b>CLOSED</b>	3/1 SORRY... <b>CLOSED</b>	2 <b>EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE</b> ☑ KOYA, KANGO ☑ ATSUSHI <b>BX CAFE</b> <b>ROYAL FLUSH</b> "BLUE CHIP" ☑ KEN-SKE, MINORUN, MOB  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/2D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	3 <b>SUNSET &amp; Culture Shock Presents DANCEHALL FLEX</b> HOST SOUND: SUNSET the platinum sound GUEST SOUND: SUPER-G from MIGHTY CROWN, BURST RISE SUPPORT SOUND: SHINING STAR RUB-A-DUB: HOSTED BY J-REXXX アガチマン, KOHGO, Tooo Singin', チャカボイ, NATER, YuKaRi & MORE!!! JAMAICAN FOOD: RICE & PIECE SOUND SYSTEM BY SUNSET the platinum sound <b>CULTURE SHOCKS</b>  ☑ OPEN: 23:00 *with flyer: ¥500 off!!* MENS: ¥2,500/1D LADIES: ¥2,000/1D * t.lil 25:00. LADIES ONLY ¥1,000/1D *	4 <b>EVERY THURSDAY NIGHT Apple Pie "9th Anniversary Special"</b> ☑ HARUKI, KOMORI, Mike-Masa  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/2D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	5 <b>EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT!!!</b> ☑ WATARAI, HAL, TOYO ☑ SHUNSUKE <b>BX CAFE</b> <b>Cherish</b> "R&B Style" ☑ Mike-Masa ☑ Itsuki  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D + SMIRNOFF ICE * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	6 <b>EVERY SATURDAY NIGHT Kings Court</b> ☑ SAFARI, INOUE, MOTOYOSI, INOKEN ☑ C.T <b>BX CAFE</b> <b>SOUL FOOD</b> ☑ 下野 ☑ DIRT FLARE from FUKUOKA  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *
7 SORRY... <b>CLOSED</b>	8 SORRY... <b>CLOSED</b>	9 <b>EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE</b> ☑ KOYA, KANGO ☑ HIDE MI <b>BX CAFE</b> <b>ROYAL FLUSH</b> "ORANGE BLOOD" ☑ KEN-SKE, SHUNSUKE, SHEIKER  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/2D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	10 <b>SQUARE</b> ☑ ICHI, NORI, NAKAMU, K.O, TAKU, simmy, TAKUYA, Fit ☑ NAOYA ☑ Lug rungel, REVOLVER, THE BOYZ, WHITE LINE ☑ izumi, PETZ  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)	11 <b>EVERY THURSDAY NIGHT Apple Pie "9th Anniversary Special 2"</b> ☑ HARUKI, KOMORI, Mike-Masa  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/2D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	12 <b>EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT!!!</b> ☑ WATARAI, HAL, TOYO ☑ SAH <b>BX CAFE</b> <b>DANGER!</b> "PARTY Style" ☑ HAZIME ☑ NAKAMU  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	13 <b>EVERY SATURDAY NIGHT Kings Court</b> ☑ SAFARI, INOUE, MOTOYOSI, INOKEN ☑ C.T <b>BX CAFE</b> <b>SUPA DUPA SATURDAY</b> HOST SOUND: MASTERPIECE SOUND, POWER PLAYERZ  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *
14 SORRY... <b>CLOSED</b>	15 SORRY... <b>CLOSED</b>	16 <b>EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE</b> ☑ KOYA, KANGO ☑ BOBBY <b>BX CAFE</b> <b>ROYAL FLUSH</b> "BLACK LOUNGE" ☑ KEN-SKE, SAH, WASSY, TOKISHIN  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/2D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	17 <b>BIG BOYZ</b> ☑ LEAD & HAL, ☑ ANARCHY  ☑ OPEN: 22:00 ¥2,500/1D	18 <b>EVERY THURSDAY NIGHT Apple Pie "9th Anniversary Special 3"</b> ☑ HARUKI, KOMORI, Mike-Masa  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/2D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	19 <b>EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT!!!</b> ☑ WATARAI, HAL, TOYO ☑ SHUNSUKE <b>BX CAFE</b> <b>HONEY DIP mini</b> ☑ OLD NICK a.k.a. DJ HASEBE, TAKESHI, FUTERI ☑ TAKU  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	20 <b>EVERY SATURDAY NIGHT Kings Court</b> ☑ SAFARI, INOUE, MOTOYOSI, INOKEN ☑ C.T <b>BX CAFE</b> <b>GREEN LIGHT</b> ☑ KOYA  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *
21 <b>DEEP IMPACT</b> ☑ WATARAI, HAZIME, Itsuki ☑ 敬香 <b>BX CAFE</b> ☑ MAYUMI, KOMORI  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)	22 SORRY... <b>CLOSED</b>	23 <b>EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE</b> ☑ KOYA, KANGO ☑ TSUKASA <b>BX CAFE</b> <b>ROYAL FLUSH</b> "YELLOW MAGIC" ☑ KEN-SKE, O-MEAN, NoPY, HIKOICHI  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/2D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	24 DJ NUCKEY PRESENTS <b>NEVER BROKE SP.</b> "SHOW TIME JAPAN TOUR" feat. DJ KAST ONE (THE HEAVY HITTERS. NYC) ☑ NAOYA, NUCKEY, 8 MAN, TY-KOH, YABLOVE ☑ DJ KAST ONE (THE HEAVY HITTERS, NYC) EXCLUSIVE DANCE CYPHER for BLUE MAGIC: TRIPLE CLUTCH, S.O.D., LYRICAL THANKS & BLOCK DIAMOND GO GO DANCER: TOKYO GO-GO DANCERS ☑ C.E.O. KAZU  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)	25 <b>EVERY THURSDAY NIGHT Apple Pie "9th Anniversary Special 4"</b> ☑ HARUKI, KOMORI, Mike-Masa  ☑ 先着100名様に *Apple Pie 9TH Anniversary EXCLUSIVE MIX CD* プレゼント! ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/2D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	26 <b>EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT!!!</b> ☑ WATARAI, HAL, TOYO ☑ SAH <b>BX CAFE</b> <b>ILL MAGIC</b> "HIP HOP Style" ☑ K-BOOGIE, SAH ☑ WATAYOSHI  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	27 <b>EVERY SATURDAY NIGHT Kings Court</b> ☑ SAFARI, INOUE, MOTOYOSI, INOKEN ☑ C.T <b>BX CAFE</b> <b>HIGHER</b> ☑ MOTOYOSI, A-KAY  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D + SMIRNOFF ICE * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *
28 SORRY... <b>CLOSED</b>	29 <b>Memorise</b> ☑ HAL ☑ NASKA EXCLUSIVE DANCE SHOWCASE: - LYRICAL THANKS - BOMB BOMB - Gunz HUNT - BLACK MARKET  ☑ OPEN: 22:00 ¥2,500/1D ¥2,000/1D (with flyer)	30 <b>EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE</b> ☑ KOYA, KENSUKE <b>BX CAFE</b> <b>ROYAL FLUSH</b> "RED LIGHT SPECIAL" ☑ KANGO, HIDE MI, CO-HEY, AYA, TAISUKE  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/2D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	31 SORRY... <b>CLOSED</b>	4/1 <b>EVERY THURSDAY NIGHT Apple Pie</b> ☑ HARUKI, KOMORI, Mike-Masa  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/2D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	2 <b>EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT!!!</b> ☑ WATARAI, HAL, TOYO ☑ SHUNSUKE <b>BX CAFE</b> <b>Cherish</b> "R&B Style" ☑ Mike-Masa ☑ Itsuki  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	3 <b>EVERY SATURDAY NIGHT Kings Court</b> ☑ SAFARI, INOUE, MOTOYOSI, INOKEN ☑ C.T <b>BX CAFE</b> <b>SOUL FOOD</b> ☑ 下野 ☑ LEAD from KYOTO  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *
4 SORRY... <b>CLOSED</b>	5 SORRY... <b>CLOSED</b>	6 <b>EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE</b> ☑ KOYA, KANGO ☑ ATSUSHI <b>BX CAFE</b> <b>ROYAL FLUSH</b> "BLUE CHIP" ☑ KEN-SKE, MINORUN, MOB  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/2D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	7 <b>SUNSET &amp; Culture Shock Presents DANCEHALL FLEX</b> HOST SOUND: SUNSET the platinum sound SOUND: BURST RISE, SHINING STAR SPECIAL LIVE with MPC BAND!!! RUEED, J-REXXX, アガチマン, KOHGO BACK BAND: "MUSIC PLAYERS BAND" with KON "MPC" KEN from "KOBUSI PRODUCTION" GUAN CHAI from "TC MOVEMENTS" SLEEPY KENTA from "SUPER TRASH" SEIJI MAN from "HOME GROWN" JAMAICAN FOOD: RICE & PIECE SOUND SYSTEM BY SUNSET the platinum sound <b>CULTURE SHOCKS</b>  ☑ OPEN: 23:00 *with flyer: ¥500 off!!* MENS: ¥2,500/1D LADIES: ¥2,000/1D * t.lil 25:00. LADIES ONLY ¥1,000/1D *	8 <b>EVERY THURSDAY NIGHT Apple Pie</b> ☑ HARUKI, KOMORI, Mike-Masa  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/2D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	9 <b>EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT!!!</b> ☑ WATARAI, HAL, TOYO ☑ SAH <b>BX CAFE</b> <b>DANGER!</b> "PARTY Style" ☑ HAZIME ☑ NAKAMU  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	10 <b>EVERY SATURDAY NIGHT Kings Court</b> ☑ SAFARI, INOUE, MOTOYOSI, INOKEN ☑ C.T <b>BX CAFE</b> <b>SUPA DUPA SATURDAY</b> HOST SOUND: MASTERPIECE SOUND, POWER PLAYERZ  ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.lil 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

☑ : DJ  
☑ : MC  
☑ : GUEST DJ  
☑ : SPECIAL GUEST  
☑ : LIVE  
☑ : DANCE SHOW CASE  
☑ : VJ  
☑ : OPEN UP DJ  
☑ : HOST  
☑ : INFORMATION  
**BX CAFE** : HARLEM 3RD FLOOR

## ▶▶ EVERY TUESDAY "RED ZONE"

ニューヨークのパーティースタイルにこだわり、スタートから早くも9年目を迎える「RED ZONE」。DJ KOYA & KANGOの二人は年々進化の度合いを増し、視点の先はすでにニューヨークだけに留まらず世界中に向けられている。数々の海外DJとの共演や貪欲なチャレンジ精神などにより、二人のシーンの先を読む嗅覚は研ぎ澄まされ、もはや「RED ZONE」から世界へ流行を発信していると言っても過言ではない。知り尽くした彼等にしか出来ない選曲で、平日とは思えない大勢のパーティーフリークはもちろん、同業でもある各DJにも影響を与え続けている。

最先端の神髄を味わいたければ、毎週火曜日の「RED ZONE」へ迷わずGO!



## ▶▶ BXCafe "ROYAL FLUSH"

『RED ZONE』の上の階、BXCafeにて開催されるWEEKLY PARTY『ROYAL FLUSH』!! DJ KEN-SKEがHIP HOPに留まらず、あらゆるジャンルを自在に操り、長年現場で培ってきた幅広い音楽性を遺憾なく発揮します。今世紀に残すべき、いつの時代にも耐えうるCLASSICSを中心に、時には最先端のものまで、毎週表情の違うGOOD MUSICを皆様にお届けします。まるでポーカーのように「最上の一手」で一晩を創り出していく選曲は必聴です!

HIP HOP・R&B中心の第1週目『BLUE CHIP』、DANCE CLASSICSを柱とした第2週目『ORANGE BLOOD』、STRICTLY HIP HOPな第3週目『BLACK LOUNGE』、ALL DANCE MUSICの第4週目『YELLOW MAGIC』、第5週目は『RED LIGHT SPECIAL』と、毎週異なるテーマを掲げ、週替わりのフレッシュな布陣でお贈りします。メインフロアとはひと味違ったディープな選曲を是非体感して下さい☆



## ▶▶ EVERY THURSDAY "Apple Pie"

R&B PARTYの代名詞Apple Pie。その確固たるスタイルが打ち立てた金字塔はもはや数知れず、3月より待望のレギュラー化でその勢いは留まるところを知らない…。木曜日の夜を色鮮やかに演出するのは、唯一無二のGROOVEでもはや右に出るものはいない、数々のドラマを映し出し、聴く人すべてを魅了するスケールで音、Vibezを届ける男DJ HARUKI。その端麗な容姿からR&B王子とも呼ばれている彼のリアルタイムに体现するその世界観は現在進行形でR&Bシーンを牽引。メジャーや多方面での制作活動、現場では全国各地を飛び回りHARDEST WORKIN' DJの名を欲しいがままにするDJ KOMORI。そして次世代R&B DJ筆頭株との呼び声高いDJ Mike-Masaが脈々と受け継がれるApple Pieの正統な血脈を更に進化させていけば、もう言葉では語る事の出来ない感動が貴方を包み込む。時にはメロウ&スウィートに、時にはキャッチーそしてメロディアスに、そして切なドラマチックな一晩をApple Pieで過ごしてしまえば、もうそのR&Bの魔力の虜になってしまっているだろう…。

3月はApple Pie 9th Anniversary Special月間!! 週替わりで様々なExclusive Surpriseを御用意してお待ちしております♪



## ▶▶ EVERY FRIDAY "PUNCH OUT !!!"

「PUNCH OUT !!!」というタイトルの通り、WATARAI、HAL、TOYOの3DJ'sが、毎週金曜日にPARTY PEOPLEと真っ正面から音のファイトを繰り広げる。時に激しく、時には甘く。その場の状況に応じて自由自在に、フロアへ音の連打を浴びせる。これまでのフライデーナイトのイメージと常識をぶち破りつつ、新感覚な夜を提示し、PARTY PEOPLEを昇天させるであろう!

※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。



## ▶▶ EVERY SATURDAY "Kings Court"

「Kings Court」というタイトルには、「お客様が王様になったつもりで遊ぶ場所。」という意味合いが含まれている。DJのSAFARI、INOUE、MOTOYOSI、INOENとMCのC.T.が、どんな王様のワガママにも応えるべく、究極のフロアを作り出す。しかもスタイリッシュに! 毎週土曜日の「Kings Court」が新たな伝説を築き上げるのを見逃すな!

※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。



## HARLEM STAFF WANTED!

ごんぼんは〜ついにやってまいりました!! この季節!! 一年に一度のチョコのお返しにネックレスや指輪をお返しする、わらしべ長者祭り!! 題してホワイトデーが!! 先月のバレンタインの前日に近くのメガネ屋が「バレンタイン特別セール」メガネ40%OFFって!! それは、さすがに無理あるやろ〜 そして今年バレンタイン一個も、もらなかつたあなた! ヤーマン弘田と一緒に働かないですか!! あなた1人じゃない★ 来年こそ一緒にホワイトデーで悩ましましょう!! スタッフ募集中です〜 電話でご応募される方はヤーマン弘田のスタッフ募集見たと一言お伝え下さい★ なんとなく… 詳しくはこちらまで↓

HARLEMではスタッフの募集をしております。採用エントリーはホームページの[RECRUIT]から! [www.harlem.co.jp](http://www.harlem.co.jp) [www.harlem.co.jp/harlem/recruit.html] for Mobile! >>

## MONTHLY MAGAZINE HARLEM

《HARLEM MONTHLY MAGAZINE》設置店募集! 本紙を毎月20部以上100部未満で設置または配布して頂けるショップ(会社)を募集しております。設置ご希望の方は、【フリーペーパー設置希望】のタイトルで、以下の事項をご入力の上メールにてご連絡下さい。追って当方からご連絡させていただきます。 ※個人の方への発送は行っておりません。 ※送料は弊社負担となります。 ※応募多数の場合はご希望に沿えない場合がございます。予めご了承下さい。 ■お申し込み先アドレス: otaken@harlem.co.jp ■記載事項: 会社名(店舗名)/業務内容/お取り扱い商品/希望送付部数/ご住所/ご連絡先電話番号/メールアドレス/ご担当者様名/HPアドレス(お持ちの方)

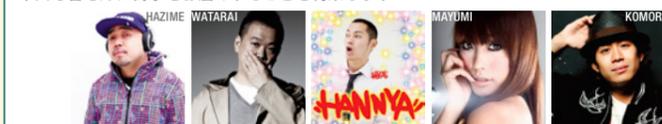
## 3/17.WED "BIG BOYZ"

3月17日、新しいイベントがハーレムで誕生します! その名も「BIG BOYZ」!! 関西からは昨年Heavy Hittersにアジア人として初めて正式メンバーに選ばれたDJ LEADが、関東からはHARLEMの金曜PUNCH OUT!!!を盛り上げるDJ HALが出演!! さらにゲストライブとしてDJ LEADと同じく京都出身のANARCHYも登場します! 1回目から濃い内容でお届けするBIG BOYZ!! 必見です!



## 3/21.SUN "DEEP IMPACT"

年末の衝撃も覚めやらぬまま3月もやってきました、DEEP IMPACT!! フロアを盛り上げるのはWATARAI、HAZIME、MAYUMI、KOMORIと文句なしのラインナップ! そして今回の目玉はなんとと言っても今や不動の人気、般若!! その日限りのステージでオーディエンスを釘付けにすることでしょう! 今回も皆さんに衝撃をお届けすることを約束します!!



## 3/24.WED "NEVER BROKE SPECIAL"

REAL HIP HOP PARTY、NEVER BROKEがHARLEM 3回目の登場! 今回は、本場NYCよりNO.1 DJ集団、THE HEAVY HITTERSに属するDJ KAST ONEがスピン! NY人気NO.1ラジオHOT97のDJも務め、JAY-Z「BLUE PRINT 3 TOUR」の参加も決まり、名実共に今、NYでHOTなDJであり、「THE FUTURE」という肩書きに間違いのない☆ そして、既に共演を果たしているNEVER BROKE、IN HARLEM DJsはヤバすぎます♪ REAL CLUB IS BACKKK!!!



## 3/29.MON "Memorise"

Memorise。出会いと別れのシーズンだからこそ、忘れられない一晩があってもいいんじゃないでしょうか!? そんな一晩を演出するのはPUNCH OUT!!!でもお馴染みDJ HAL!! さらにこのイベント最大の目玉はなんとと言ってもDANCE SHOW!! 気合い入りまくってますよ!! 黄色い歌声お待ちしてます!! 出演者は準備バッチリ、あとはみなさんのご来場を待っています!! 手帳には3月29日 Memorise@HARLEM!! もうみなさんの準備もバッチリですよ!!



## 4/7.WED "DANCEHALL FLEX"

3月からスタートしたCULTURE SHOCK & SUNSETプレゼンツのハーレムダンス「DANCEHALL FLEX」の第2弾! SUNSETを中心に毎月多彩なゲストでダンスホールをありとあらゆる切り口から楽しもうというコンセプトのダンス! 4/7はゲストアーティストにRUEEDが登場! ですが、ただライブをやる訳じゃありません。2010年新たな動きを見せている日本の有名バンドの「MPC」(※AKAI社の名作ドラママシーン)を担当している4人のMPC使いが集結したユニット、その名も「Music Players Camp」が操る4台のMPCから繰り出すリディムでライブをするという前代未聞の試みです! ライブの前後はSUNSET、BURST RISE、SHINING STARの3サウンドがガッツリ盛り上げます。という訳で4月のDANCEHALL FLEX、こんなライブはなかなか見られるものじゃないので是非チェックしてください! 1時までに入場の女性のみ¥1,000(1d)となります。お楽しみに!



## "STAFF BLOG" MOVED!

HARLEMスタッフのブログが、MOBILE対応でアメブロにお引っ越し! イベントレポートからお得なレア情報まで CHECK THIS OUT!!! YO~♪ <http://www.harlem.co.jp/harlem/blog.html> or <http://ameblo.jp/harlemstaff/> for Mobile! >>



## "FRIDAYS BX CAFE" in MARCH 2010

2010年も3月に突入し、冷たい北風もその役目を終えようとするややくらい和やかになってきたところ、これから来るであろう新しい季節に向け忙しく準備を進める雑踏を横目に木々の新たな芽吹きを見ると、そこには小鳥達のtweetと共に柔らかな日差しが降り注ぎます。寒い冬もとうとう終わりを告げ、暖かい日溜まりの中に身を置くともう春の訪れを感じずにはいられません。街の中は新しい別れと出会いで溢れ、それぞれの思いを胸に心躍らせるそんな節目の季節、ウキウキ気分もワクワク気分もそのままに金曜日のBX CAFEへお寄り頂いてはいかがでしょうか? そんな心を満たしてくれる音楽はココでしか聴けない、DJ達から紡ぎだされる特別な空間と音は、きっとこの季節を心に刻んでくれます。そしてそれは色鮮やかに甦る事でしょう、いつかまた3月の風が貴方の頬をなでた時に…。 さあそんな週末金曜日のBX CAFEは週替わりでバラエティに富んだ様々なStyleでお届けしています!

第1週目はDJ Mike-MasaによるCherish「R&B Style」。3月は「桃の節句」ということで、キラキラ華やかな印象はそのままに、いつも以上に女の子に優しいMIX、選曲はもちろん雰囲気までみなさんがハッピーになれること間違いなし。この日は恋の息吹もキュービットが吹きちやうかも?!

第2週目はPARTY Styleでお届けしているDJ HAZIMEによるDANGER!。氏を筆頭に若手DJ陣がしのぎを削り合い、端から端まで余す事なく踊り狂ってしまうタイトル通り危険な一夜。リアルパーティーピーポーは絶対にこのPARTYは外せません。新旧問わず踊り倒せる事にこだわったHOTな選曲で飲んで騒ぎましょう!

第3週目はHONEY DIP mini。OLD NICK a.k.a.DJ HASEBEとDJ TAKESHIが発信し続けるスタイルは常に新たなムーブメントを作り大きなサプライズを生み出しています。そんな二人のまさに「今」を体感できるのがこのPARTY。一度来ればもう病みつき?! 中毒患者続出のGROOVEに包まれて体揺らしましょう!

第4週目はHIP HOP StyleのILL MAGIC。CLASSICSもBRAND NEWも、とにかく真っ黒なGOOD VIBEZ NIGHT! DJ K-BOOGIEがスムーズなMIXで踊らせれば、DJ SAHが正確無比なスクラッチでターンテーブルを巧みに操りbeatを切り刻みます。お互いの個性が絶妙に絡み合い起こる化学反応に体は否応無しに動いてしまう事でしょう。Headbang ILL Beats Dirty MAGIC!

毎週週替わり、BX CAFEでだからこそ出来るスーパーバリュー、コンセプトフルなテーマでお贈りしています。2F HARLEM PUNCH OUT!!!はもちろん、オシャレしてBX CAFE FRIDAYSもCHECKすればCLUB HARLEMが10倍楽しくなる!! 自信を持ってお届けする音の多重構造を是非是非お楽しみください!



## 3/6-4/3.SAT "SOUL FOOD"

第1土曜BX CAFEと言えばSOUL FOOD!! 大阪で活躍するDJ下拓を中心に全国各地で活躍するDJを招待する新しいスタイルのイベントです! 3月6日は福岡で活躍するDJ DIRT FLAREが、そして4月3日は、先日のアジア人初の就任PARTYも記憶に新しいHEAVY HITTERSからDJ LEAD from 京都が登場!! 東京に居ながら大阪と各地の空気を感じられるこのパーティー、見逃せません!!



## 3/13-4/10.SAT "SUPA DUPA SATURDAY"

徐々に気候も暖かくなってくる3月!! レゲエが気持ちいい季節に突入してきました第2土曜「SUPA DUPA SATURDAY」!! 年中熱いジョーグリンで湧かされてくれるMASTERPIECE SOUNDと、年中脳汁ダラダラかかせてくれ今最も勢いのに『POWER PLAYERZ』がお贈りします!! ジャマイカの最新のチューンは勿論、HIP HOP、R&Bとバランス良くプレイされるこのダンス!! 第2土曜「SUPA DUPA SATURDAY」はレゲエ初心者の方貴方も絶対!! 絶対!! 楽しめるダンスで〜す♪ 2Fから3Fの階段駆け上がってきてくださいー!!



## ヤーマン弘田の 今月のスタッフ紹介

[本名: 松本一希、回転寿司好きの25歳] HARLEMの三銃士の一角! 地元は福島、みちのくの狂犬!! ことまつっ!! ギャルウケNo.1! ヤーマン弘田にもちょっとならば〜やん★ 恐らく3年後には有名なシンガーになるはず!! いや、絶対なる! いや、なってほしい! いや、なってや〜 今から要チェックや〜



☆マイケルマニアの松本一希が選ぶマイケルン言えばこれ!! ①: Smooth Criminal ②: Human Nature ③: P.Y.T ☆ゾーでもい!!(け)松本一希が愛してやまないアーティストベスト3 ①: Michael Jackson ②: OMARION ③: Usher

# What's Crackin'?



- NEW YORK YANKEES B.B. CAP: ¥5,040 (NEW ERA)
- Velors Cutsew: ¥10,290 (LAVIE)
- Denim Pants: ¥34,440 (TURE RELIGION)



- C.T. "REUNION"**
1. BACK IN THE DAY pro. KEY-MAKER
  2. DREAMS COME TRUE pro. JHETT a.k.a. YAKKO
  3. STILL MY LUV feat. DAG FORCE pro. S.U.I.
  4. STREET ON FIRE feat. VIKN, MIKRIS, DJ TY- KQH pro. S.U.I.

昨年リリースした1st Album「DREAMS COME TRUE -ONE-」の配信限定楽曲3曲に、エクスクルーシヴソング1曲を加えた4曲入りのシングル盤。昨年配信でしか聴けなかった人気の曲をコンパイル!! 1st Album & 今回のシングルが再結合したという意味も込めてCDのタイトルは「REUNION」! これで1st Albumは完成される。

**IN STORES NOW!**  
¥1,260 (TAX INCL.)

## \*C.T.'s Choice Items!!!\*



· Microphone Pager T-Shirts: ¥6,090 (MICROPHONE PAGER CLOTHING)



· Denim Pants: ¥23,940 (GOLD SPUN)



· Pullover Parker: ¥23,940 (AACA)



· From Brooklyn T-Shirts: ¥6,090 (FLY KID)



· Sweat: ¥13,440 (SSUR)



· Nylon Set Up Jersey: 上 ¥10,290 下 ¥8,190 (JORDAN BRAND)



· Velors Jersey Set Up: 上 ¥12,390 下 ¥11,340 (FILA)



· NEW YORK YANKEES BaseBall Shirts: ¥31,500 (mitchell & ness)

# Hey! I'm Broadcasting from...

Text by Takeshi Yanagawa/DJ Takeshi • "Honey Dip mini" Every 3rd Friday @ BX CAFE  
 feedback/contact: takeshiyanagawa@gmail.com • blog http://yanatake.blogspot.com

連日ニューストピックとしても注目の高まる「Twitter」ですが、みなさんもやっていますか？実は利用者の平均年齢が高かったり、PCやiPhoneユーザーが圧倒的に多いようですけど。従来のSNSなら利用しているという人も多いと思いますが、まあ騙されたと思ってアカウント作って下さい。ハマってしまえば、どのメディアをも凌駕し、もはや「電子メール」すら飲み込んでしまったとまで言われていることも分かるかと思いますが。色んなアーティストやDJが直で情報を発信しているのはBLOGなどと同じことですが、このリアルタイムの共有が起すマジックに毎日驚かされっぱなし。これまでの雑誌がマンスリーやウィークリーの情報だったのに対し、BLOGはデイリー程度、Twitterの世界はまさに瞬間を切り取り、旬な情報はわずか3時間程度で爆発的に盛り上がり、サラッと消えて行きます(笑)。

迫り来る圧倒的な情報量を処理していく作業は向き不向きもあると思いますが、その瞬間を捉えた時、今までに経験したことのないような「新しい何か」に出会えることは保証します。さて、今回はTwitterを通して新たな盛り上がりを見せている、その「新しい何か」の1つである「Ustream」を主としたネット生中継を使ったDJ達の動きに注目してみましょう。

ネットで生中継。新しいサービスというわけではないのですが、iPhoneのアプリで「Ustream Live Broadcaster」がリリースされた昨年12月を境に一気に爆発します。iPhoneを持ってれば「簡単に世界中に生中継動画を配信出来ます」という革命的な響きは瞬時にユーザーに広まりました。つまり、どこでどんな事件が起ころうと、僕達はそれを配信出来るし、見ることさえ出来るようになったのです。ネット用語では「タダ漏れ」とか言いますが、無秩序状態のまま、あらゆる情報が発信されるような時代になったんですね。通常のテレビ番組のようなスタイルもあるし、政治活動、記者会見やスポーツ中継なんかもやったりしますが、同じレベルで僕らが放送権を持てることには未来やチャンスをピンピン感じちゃうわけです。当然、「世界中のクラブの状況なんか見れちゃうんじゃないの？」なんて考えちゃうじゃないですか？もちろん、そういうものないわけじゃないんですが、クリスマスの夜にあるDJが一夜にして有名になる事件が起こります。画面に映し出されたのは、ごく普通の一般的なDJブースが置かれた8畳間。現れたのは覆面をかぶった謎のDJ。彼は自分の部屋を映しながら黙々とDJプレイを始め、Ustreamを使って生中継配信しました。超絶な技術とセンスを持ちながら、話題のシステムでそれを配信したことは、まさにTwitterが日本で成熟期を迎えようとしている最中だったタイミングと重なり、クリスマス

の深夜にも関わらず2,200人以上が彼のプレイを視聴しました。翌日には音楽系のサイトなどで大きなニュースになっていたのも、それで知った人もかなりいたと思います。これが日本で最初に「Ust DJ」を大きく広めた瞬間でした。このスタイルがいかにフレッシュだったか、とは視聴者数からも感じ取れると思います。「お宅DJ」が2,200人をロックしたんですからね。こんな話聞いたことないでしょ？現在は有名無名問わずに多くのDJがこの「Ust DJ」を行い、みんなテレビやラジオそっこの気で夢中になっています。情報は常にTwitterを通して発信されるので、やっている人達には当たり前前で、そうでない人はこの瞬間の「新しい何か」を見逃さながら生活しているのです。

現在は情報格差が生まれる時代であって、デジタルデバイト(情報弱者)なんて言葉あるくらいですからね。これを知らないのは勿体ないですよー。今は無秩序な状態なわけですから、色々グレー(厳密にはクロ)な部分も多く含んでしまっていますが、ネットの世界はいつもグレーゾーンこそ面白いわけで、そこから生まれる可能性に未来を模索したいわけですよ。自宅にいながら、いやノートパソコンやiPhoneさえあれば世界中どの場所にもあらゆるタイプの生DJプレイが楽しむことが出来るんです。これは確実に未来キタでしょ？誰かも言ってましたが、これは小学生や中学生だって楽しめるんです。これも確実に未来へつながることですよ。そう、大切なのはクラブへ行きたい！っていう衝動をみせられるか、これはひとつ大事なことっていうか。今のところ「音楽愛」が感じられるものが多いので救われてる感じですが、前述の通りグレーな分やる側の意識や責任も問われています。

ただ、これは受け取る側も意識高くしなくては行けません。単純にプレイを「ヤバイっすね〜」「カッコイイ〜」とだけ言ってるのはあまりに簡単。iPhoneを持っている人は「Shazam」という便利なアプリがあるじゃないですか。知らない曲は調べて、そのままiTunesで買きましょうよ。売ってない曲がある？それはレコード会社とか配信のインフラ整えない連中に文句言ってやりましょうよ。そのDJがプロモーションしたい曲が流れたとしたら、それは同期しているTwitterやチャットを通して投げかけたり、購入先のリンクを貼ったりして楽しんでみるか。ネット上では導線を引き。これ完全なキーワード。これもまた一種のクラウドコンピューティング、とは言い過ぎかな(笑)。個人の意見や宣伝も広がるんですよ。むしろお金の掛かった派手なプロモーションより説得力ある時ありますからね。そうしながら楽しむ方がよっぽど健康的か

と。「ZebraTV」だって、そこで知って買いました！という書き込みがメチャメチャ多くて、この放送がなかったら、その曲が売れることはなかったわけですから。キッカケになってこそ初めて成功なんですよ。どの分野においても飲み込みまくっているインターネットですが、だからこそ我々の動きも真価が問われているのかと。とにかく日本は配信後進国だっていうことをちゃんと認識した上で、「キチンと買う作業」とか「バーチャルはリアルには勝てない」ってのを次世代に植えつけていかなきゃいかんのですよ。そうしなきゃアーティストやDJなんてメシ食って行けなくなりますからね。毎度言ってますが「Skills To Play The Bills」です。

Ustreamの筆頭株主となったソフトバンク孫正義さんはTwitter上の発言で5月までにUstreamの日本語化を名言しました。最高に楽しみだし、その先には圧倒的なカオスと立ち止まっているシステムの崩壊が待っています。現状、正解は見えていません。違法なことを奨励などしていません。しかし現実には動いているのです。動いているからこそ止められてしまう可能性もあります。だから、この動きを知らなかったアナタは今すぐ飛び込んでみることに。この革新的な動きを自分で確認しておくこと。少なくとも5月まではこの世界を楽しめます。やる側もあくまでもグレーなことを忘れずに、受け取る側は「タダ」喜んでだけじゃなくて、その先のアクションを起こす。リアルタイムに。これが出来れば未来は開けてくるんじゃないかな、といつも思ってます。

あー、スイマセン。スイマセン。誤解にならないように言っておきますが、Ustreamは基本的に優良放送ばかりですよ(笑)。もちろんパソコンでも放送/視聴出来ます。

最後にあるセミナーから流れてきたつぶやきにありましたが、「マネージャーは駄目というのが仕事だったけど、これからはどどん試してから考えるべき。」はい、その通りだと思います。こんな時代ですからね。楽しみながら試してみましょうよ。

まず否定から入った時点でアナタはもう終わる時代の人なのかもよ？



かおちゃんさん @LIGHTS



あーちゃんさん、Pi-chanさん、mieさん @SHIBUYAIZM



みほりんさん @Kings Court



by HARLEM



So-chanさん @DJ MAYUMI "Girls Collection" RELEASE PARTY



絵梨さん、ERIRINさん @LIGHTS



TOMO.Bさん (Banana Boom) @LIGHTS



ありささん、れいらさん @PLATINUM JAM



りかささん、ちひろさん @RED ZONE



2.10.WED "TOKYO SAFARI" 大阪NO.1 HOTTEST PARTY (OSAKA SAFARI) が遂にHARLEM上陸。本丸大阪からはGEORGE、下拓が出陣しフロアを爆発させると、DOBERMAN INCの登場で一気に沸点へ。東京からはDJ HAZIME、MC C.Tが迎え撃ち、BX CAFEではKOMORI、HALらが溢れるオーディエンスをこれでもかと踊らせ、(OSAKA SAFARI) ブランドをまさまざと見せつけた一夜となった。

2.10 Party Photo by SHINICHIRO SAITO (SPELA)



2.17.WED "LIGHTS" この日のGUEST、NAZUKI&AKOがYOUNG SHORTYを引き連れてステージを華やかに彩ると、HARLEM初登場の「サ上とロ吉」が堂々とした貫禄のLIVE ACTでがっちりロック！ その世界観にはオーディエンスのみならず出演者、スタッフ全てのハーレムビーボーが引きずり込まれた。もちろんDJ陣もKEN-SKEを筆頭にTAISEI、SAAT、SHUNSUKEが次々にフロアへホムを投下。(LIGHTS)、とにかく最高です！



2.11.THU "Apple Pie" 3月のレギュラー化を目前に更に加速度を押し続けていた(APPLE PIE)。DJ HARUKI、DJ KOMORI、DJ Mike-Masaの三者三様の個性が融合し、その雰囲気甘くHappyにみなさんを含み込みます。この日も例外なくドラマチックな一夜を過ごせたのでは…。今月から待望のレギュラー化!! HARLEMの新春板をお見逃しなく！



2.19.FRI "PUNCH OUT !!!" & BX CAFE "HONEY DIP mini" 新DJ HALがマチガイナイススキルでロックすれば、DJ TOYOが繰り出す新しいセオリーで揺れるフロア。そしてDJ WATARAIも説明不要のそのPLAYで一日をまとめあげる…。DJ ONLY、東京で踊りまくれる金曜日なら絶対に(PUNCH OUT!!!)。オシャレな女子率赤丸急上昇中！ 3階BX CAFEではOLD NICK a.k.a. DJ HASEBEとおもてなすDJ TAKESHIがテンション高く攻めれば、それに比例して酒が乱れ飛ぶ。(HONEY DIP mini)、酔わずにはられないGROOVEを是非体感して欲しい！



2.13.SAT "Kings Court" & BX CAFE "SUPA DUPA SATURDAY" 寒〜い外気とは裏腹に、垂熱帯雨林と化す土曜のHARLEM。バレンタインSPのこの日、HARLEM (Kings Court) sideではクラウドの歌声が止まらずに響き続けると、BX CAFE (SUPA DUPA SATURDAY) sideでは踊り疲れる事を知らないお客さんとMASTERPIECE SOUND、POWER PLAYERZが一体となり、その宴は続いた。第2土曜の勢いはハンパじゃない！ソーアメージング！



2.16.TUE "RED ZONE -DJ KANGO BIRTHDAY BASH!-" & BX CAFE "ROYAL FLUSH -BLACK LOUNGE-" DJ KANGOの生誕祭！という事でお祝いに駆けつける人・人・人…。お祝いすぎて千鳥足になりながらも、やはりKOYA & KANGOの圧倒的なPLAYで帰る気にさせてくれません。(ROYAL FLUSH)ではDJ KEN-SKE、DJ SAHによる(BLACK LOUNGE)。週替わりでカラーの変わるこちらも火曜日の夜を更に色濃く演出しています。まだの方はMUST CHECK！

## 天国と地獄

Written by KOHEI TAMURA (HARLEM / G-BOYS)

2010年2月のある青く晴れ渡った日曜日の朝、僕は戦場へと向かった。場所は渋谷のボーリング場。この日、HARLEM STAFFによる仁義なきボーリング大会『HARLEM BOWL 2010』がめでたく開催された。これは現実起こった話、男たちの熱き真実のドラマである。

STAFF BLOG (<http://ameblo.jp/harlemstaff/>)でお伝えした通り、運命のドラフト会議によって、HARLEM STAFFを全5チームに編成した。しかしボーリング大会前夜、いきなり波乱が起こる。選手であり今大会の実行委員でもある、ONO-DILLAとエグチが極度の体調不良に襲われ強制送還。さらにはメキシカンピンポンこと盆栽は、自らのスキャンダルの責任を取る「けじめの酒」により戦闘不能に。突如3名の離脱者を出し、まさかの大会中止という悪夢が頭をよぎった。ところが神様は存在した。Kings CourtのDJ陣(DJ MOTOYOSI/DJ INOKEN/DJ SHINOBU)が「チームSHOUCUU」への電撃入団を発表。試合開始の1時間前、何とか5チームのメンバーが揃った。

メンバー全員が関西出身の「関西ユナイテッド」。主将が不祥事で不在の「むらビヨンス」。ファッション番長B.A.B.A率いる「TE-MAN」。円山ハードコア(MYHC)の精鋭が揃った「MAD BOWL」。PAの大御所・斉藤氏(DJ SHOUCUU a.k.a. セイチちゃん)率いる「チームSHOUCUU feat. Kings Court」。男の1 GAME 1 本勝負。練習&泣きの再戦禁止。意図的な酒抜きも禁止。各チーム4人の合計スコアで争われる。優勝したら天国のおもてなし、最下位なら地獄の罰ゲーム。果たして栄冠は誰の手に…。

5レーン同時に、いざプレイボール！(本当は同時投球は禁止デス)大会特有の緊張感が場内をつつこみ、ロースコアの争いが予想されたが、予想を覆しHARLEMの若きサムライたちが台風の目となった。ドラフト全体1位指名・モロ諸富や、PINKの稲妻・FUJIE

らがストライク&スペアを量産。関西ユナイテッドの貴公子・フジシゲは5ストライクの大量暴れ。場内は終止歓声と悲鳴の嵐となった。大注目のKings Court勢はというと、DJ MOTOYOSIは要所で華麗にダブルを叩き出すなど貫禄の内容。DJ INOKENは闘志を全面に出す“強いボーリング”。「代打の代打」DJ SHINOBU(登録名・アツシ)もスベア連発で堅実な男をアピール！

気がかりなのはショウチュウ主将のスロースターターっぷりか？ 容赦ないヤジが飛び交う中、手に汗握る激戦は繰り広げられていった。うおおお。という訳で死闘は1時間半にも及び、大興奮の中フニッシュ。初代王者は戦前の予想通り、笑いを捨てた「関西ユナイテッド(ハシモト/タクアン/ヤーマン弘田/フジシゲ)!!!! 準優勝は「むらビヨンス」。3位「MAD BOWL」。4位「TE-MAN」。そしてまさかまさかの最下位は……、「チームSHOUCUU feat. Kings Court (DJ SHOUCUU/DJ MOTOYOSI/DJ INOKEN/DJ SHINOBU)!!!!!! 主将の不振の責任？ Kings Court終了後の酒量が原因!? 勝負は結果が全て。ちなみに168のスコアを出した京都の破壊王・ハシモトがMVPに輝いた。

さあここからが今月より鬼の連載開始の「天国と地獄」の真骨頂。優勝チームは天国のおもてなし。最下位チームは地獄の罰ゲーム。しかしながらアーティストに罰ゲームを受けさせる訳には行かないので、当日欠場した3名が責任をもって喰らうはず。自腹でハンジージャンプとの噂も…。リアル高所恐怖症のエグチは大丈夫なのか?? 続きは次号の「天国と地獄」にて！

それでは最後に当日欠場で不本意ながらも罰ゲームを受ける事となった江口史人さん(26歳/BARの大将)のコメント。「『ガンバレ！柔ちゃん！』精神で頑張ります。」

以上ID番長タムラのHARLEM BOWL 2010レポートでした。来月号「天国と地獄」に乞う御期待!!!





# 春の シャンパンフェア

“チャオ・イタリアーノ”

Ciao Italiano

果実の香りがはじける、  
さわやかなスパークリングワイン。

お祝いシーズンに、シャンパンで乾杯  
なんていかがでしょうか？

- ・ピーチ
  - ・ライチ
  - ・サクランボ
- の3種類！

¥5,000  
↓  
¥3,500!

## “HARLEM REGGAE DANCE”

タクアンですコンニチハ。HARLEMでは今年の1月まで、月に2回レゲエのダンスを行ってきました。

そのひとつ、第1木曜に開催の「PLATINUM JAM」。そのはじめは10年前に遡り、2000年10月。ダンスのコンセプトは、[SUNSET]と[SUPER-G (MIGHTY CROWN)]という世界トップクラスである2サウンドのプレイをガッチリ長い時間聴く事ができ、1人のアーティストのライブをしっかり堪能、少ない出演者で濃い内容を見せるといったもの。天井までときどきそんなサウンドシステムをフロアに入れ、開催当時HARLEMの様なキャパで定期的にダンスを開催する事は画期的なものでした。

そして当ダンスをはじめて間もない2001年2月、[MIGHTY CROWN]をゲストサウンドとして招き入れます。[写真①] SUPER-Gがこのダンスを境に、自身のサウンドクルーを解散しMIGHTY CROWNに加入。そしてCROWNがNEW YORKにて行われた「WORLD CLASH」で優勝という快挙と相重なり、早くも1,000人オーバーという異例のスピードでビッグダンスに成長。PLATINUM JAMの名は瞬間に全国に伝わっていきました。

さらには、日本のアーティストやサウンドが出演するだけでなく [Da'ville] や [DING DONG]、[TERRY LINEN] といった本国ジャマイカのアーティストがゲストとして出演するといったリンクが実現。今では当たり前になったこの光景もいち早くPLATINUM JAMが取り入れ日本のレゲエシーンの活性化に貢献したのです。

そしてもうひとつのダンスが、2004年8月よりはじまった第3木曜日「SOUND REVOLUTION」。

[写真②] 現在ジャマイカ滞在中の [INDEPENDENT]

と共に、早い時間からファンデーションを中心としたダブプレートなどをプレイ。レゲエの歴史、そしてサウンドの歴史が非常に濃く凝縮されコアなレゲエ好きのためのダンスがこの頃よりスタートしました。

HARLEMでは珍しくフロアにブースを設置。“お客さんと同じ目線”という一体感のある、まるでジャマイカのゲッターの様な雰囲気もこのダンスの特徴。そして当ダンスが徐々に認知度をあげる中、INDEPENDENTが目出たくサウンド設立7周年を迎えることに。それにあたって自身のサウンドシステムが完成し、この頃よりSUNSETとINDEPENDENTのサウンドシステムが毎月交互に導入されるなど、内容の充実度やダンスの人気の増々深まってきました。日本の裏側ジャマイカで試行錯誤して録られた新旧のダブプレートが惜しげもなくプレイされ、最新のダンスホールのチューンがイチ早く聴ける。正に“温故知新”といったレゲエの文化がSOUND REVOLUTIONでは正しく伝えられていったのです。

そして今年2010年に入り、各方面で“原点回帰”といった更なるシーンの向上にむけて声を大にされるところが目立ちます。もちろんHARLEMも例外ではなくシーンの向上にむけて、ここで紹介してきた2

つのダンスをリニューアル!! 新しいダンスの名を『DANCEHALL FLEX』と題し、毎月第1水曜日に開催します。[写真③] 内容はSUNSETを中心に毎回多彩なゲストサウンドを招き、SUNSETにゆかりのあるアーティスト達がマイクを握るなど、SUNSET曰く「毎月様々な仕掛けをしてある」と何が起るかかわからないダンス。レゲエ好きはもちろん、この日を機会に普段レゲエのダンスに行かない方にも遊びにきていただければ幸いです。“音を止めてもう一度曲の頭からプレイする”、“MCが喋りながら曲をプレイする”などHIP HOPのパーティーによく遊びに行く方には理解するまでに少々時間が掛かるかもしれませんが。しかし“HIP HOPとREGGAEは兄弟”とよく言ったもの。同じブラックカルチャーとして現場で体感することを強くお勧めします。HARLEMはこれからもSUNSETとCULTURE SHOCKと共に『DANCEHALL FLEX』を盛り上げていきます!!

2010年3月3日の水曜日、HARLEMのレゲエのダンスが新章へ突入します。今後のレゲエシーンを支えるのはサウンドやアーティストだけでなく、良し悪しを判断できるお客さんなのです。



## ROCK THE CITY

“Ha Ha Slow Down Son”



Edited by Yas 5 All photos provided courtesy of Yas 5th, Wane, Zedz, Van II. Special thanks to Tats Cru, Mac Crew, Kosmopolite, Zedz, Seil 2, Wane, Dezo, Van II, Nine Rulaz, Mighty Crown, Irie Life, Hitoshi, Nesta, Creative Color, Montana Hardcore, Posca, Krylon, Murasaki, Chilli, Sena, Marc Jacobs, Nike, Myriam, Habi (R.I.P), Thomas, Overkill, Kings Of New York, Alexander McQueen (R.I.P), The Benjamin Franklin School in Bronx, Suzy, Nasa Crew, Brim, Joey Crack aka Fat Joe, Seen, Mist, A-Trak, Elza, Fame City, COD, TC5, Agari Crew, RDK, Suki-Bar, Pwoz, Porno Stars, Meeting Of Styles, Martha Cooper. yas5ive@f7.dion.ne.jp

## THE SIGN OF PROOF comic

I RECOMMEND

今回は NITRO MICROPHONE UNDERGROUND の「DELI」 実に4年ぶりの新作になりますが、絶賛発売中の『THE BIBLE 4 SURVIVAL』 すでにお聴きの方はご存知でしょうが、オートチューン使いにハートフルなリリックが新境地の食心作となっております。リード曲、PV曲となる「今夜はバースデー・パッシュ」はニトロの盟友 DABO と AI と共に「ハッピー・バースデー」という普遍的なテーマを振り下ろし、奮い上げたメロウ・ナンバー。ピースフルでウォームな感動の名曲!!!

また、You Tube にアップされ話題を呼んだ「もしかしら世界も笑う」「ボクのために笑って」など、人が生きていく上で大切なことを詰め込んだ13曲。絶賛発売中!!! ¥2,100 (税込)

95PROOF 今回は NITRO MICROPHONE UNDERGROUND の「DELI」の「THE BIBLE 4 SURVIVAL」でした。 to be continued?

